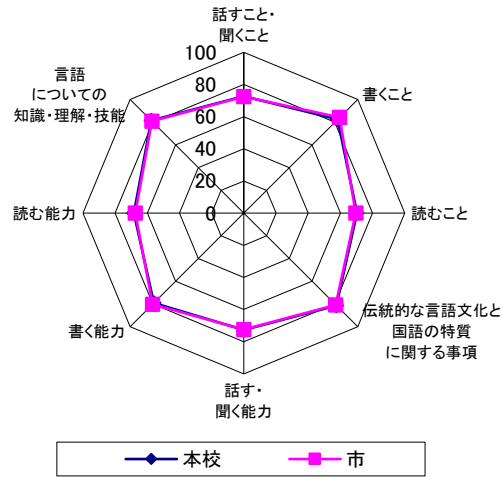


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	72.7	72.4	70.5
	書くこと	82.3	84.1	70.0
	読むこと	70.3	69.5	64.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.4	80.8	77.7
観点別	話す・聞く能力	72.7	72.4	70.5
	書く能力	79.2	80.2	68.0
	読む能力	68.4	67.5	62.4
	言語についての知識・理解・技能	81.4	80.8	77.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○市の正答率を0.3ポイント上回っている。特に、「相手の考えを尊重しながら、司会者としての役割を果たすことができる。」か問われた問題では、市の正答率を4ポイント上回っている。 ●「話の展開に注意しながら聞き取ることができる。」か問う問題では、市の正答率より4.2ポイント下回っている。	・話の内容を正確に聞き取ることができるよう、話題の要点を捉え、必要な部分を正確に書き取る練習を取り入れる。 ・話の展開に注意しながら聞き取るために、正確に聞き取ってメモをし、それを整理する指導を行う。 ・話し合いの際に、話の本質を簡潔に的確に聞いたり話したりできるよう指導を行う。
書くこと	○市の正答率を1.8ポイント下回っている。 ●全ての問題において、市の正答率を下回っている。特に、「自分の考えを明確にして書くことができる。」か問う問題では4.1ポイント市の正答率を下回っている。	・自分の考えを明確にして書くことができるよう、自分の立場を明確にすること、また相手が納得する理由や根拠を書く指導を行う。 ・理由や根拠となる資料やグラフを条件通り読み取る指導を行う。
読むこと	○市の正答率を0.8ポイント上回っている。特に、「文章の展開に即して内容をとらえることができる。」か問う問題では、市の正答率を3ポイント上回っている。 ●「文章の展開をとらえて、その内容を表すグラフを選ぶことができる。」か問う問題では、市の正答率を1.5ポイント下回っている。	・文章の展開をとらえ、グラフや図表から文章に表れているものの見方や考え方について考えることができるよう、グラフや図表を用いた文章を教材として取り扱い、その読み取り方の指導を行う。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○市の正答率を0.6ポイント上回っている。特に漢字の読みに関する問題において、市の正答率を上回っている。 ●小学校で学習した漢字を書く問題の中に、市の正答率を4.8ポイント下回っているものがあった。また、品詞の分類について問われた問題に関しても、市の正答率を3.7ポイント下回っている。	・漢字の書く問題については、反復練習を行わせ、確認テストを実施することによって定着させる指導を行う。 ・文法は基礎知識の定着が肝要であるため、単元で取り扱うごとに、既習事項の確認を行うなど基礎基本を繰り返し学習することによって定着させる指導を行う。